



学校全体で育てる6年間の土台づくり

～スタートカリキュラムの改善に向けて～



現在、各小学校は、スタートカリキュラム改善の時期です。

日野町では、平成28年度、29年度の「幼保小連携推進モデル事業」実施において、保小連携プログラムを再編成されました。事業をとおり「どこの小学校でも、誰が1年生担任になっても実践可能な内容モデル」を提案しておられます。「日野町版10日間スタートカリキュラム」をもとに、6年間の小学校生活の土台を築いていくポイントを紹介しますので、改善のための参考にしてください。

<point1> 入学式当日からカリキュラムスタート

入学式当日の上級生との交流の様子を見る中で、1年生の保護者にとっても今後の小学校生活への安心感が生まれます。全校で学校の決まりを再確認することで、1年生の手本となろうとする上級生の姿やよりよい関わりも生まれます。



おすすめ→

<point2> 10日間カリキュラムの設定

校区の園・小学校での話し合いのもと、いつまでをスタートカリキュラム期間とするかを子供の姿に照らして設定します。日野町では、その期間を10日間とし、学校生活や仲間づくりへの不安を取り除き、安心して学校生活に向かえるようにしています。

6. スタートカリキュラム (1) 単元等配当表

時間	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目
8:20~9:30 うきうきタイム	あいさつ、健康観察、1日の予定、朝の準備(靴箱、ロッカー、机)、学習に入る前の心の準備(チャイム、トイレ) 1[A]	いねんせいになったよ イ1[A](生1)	うたでなかよしになろうコ2[C](音1/3)	うたでなかよしになろうコ2[C](音1/3)	うたでなかよしになろうコ2[C](音1/3)
9:35~12:30 2~4校時	入学式(行事1) 6年生とあそぼうオ23[A](学2/3)	身体測定 ア1[A](行事1)	せんせいあねコ3[A](園1)	うたでなかよしになろうコ2[C](音1/3)	なかよくなろうコ2[C](音1/3)
13:30~14:45 5校時	いねんせいになったよオ14[A](生1)	いねんせいになったよオ14[A](生1)	いねんせいになったよオ14[A](生1)	いねんせいになったよオ14[A](生1)	いねんせいになったよオ14[A](生1)

<point4> 弾力的な休憩時間

1年担任だけでなく全職員がスケジュールを把握することで、協力体制の整備や、子供への関わりが広がります。

<point7> 各教科等年間指導計画への位置付け
10日間のカリキュラムは、教育課程ののりによって作成されており、全て各教科等の年間指導計画に位置付けられています。

単元名	みんなで あそぼう
目標	友達との関わりを大切にしながら、体を動かすことの楽しさを体験する。
活動のねらい	①保育所で行っていた遊びを友達と楽しく行う。 ②小学校の体育館や校庭の使い方を覚える。 ③体をくしの運動をする。(2人組で手、肩、頭、腰、足などのタッチする部位を変える。グループや全員で輪になったり、チェーンを作ったりする。) ④体育館の安全な使い方を知る。 ⑤保育所でやったことのあるタイヤとびなどを楽しくする。 ⑥校庭にある道具、一つ一つの使い方、遊び方のルールを知り、安全に遊ぶ。 ⑦校庭の安全な使い方を知る。



中学校区等で保小連携部会等を組織し、部会が中心となって事業を推進することで、職員同士の連携も進み、推進体制も根付いたものになります。スタンダードとなるカリキュラムがあることで、一貫した指導体制も整います。

<point5> 大切にしたいこと 教員の保育体験等を通しての気づき

<point6> 校区で目指す力、視点の位置付け カリキュラム全時間に記号等で明示

★幼児期の終わりまでに育ってほしい姿【健康心身と7-7 自立心・自律心 協同心・連帯心 運動性・規範意識の芽生え エ 社会生活との関わり・約束の芽生え】

思考力の芽生え エ 自然との関わり・生命尊重心 キ 数量感への関心・感覚 エ 言葉による伝え合い ウ 豊かな感性と表現

★日野町版10日間のスタートカリキュラム【基本的な生活習慣-1 コミュニケーション力-2 自尊感情-3 セルフコントロール力-4】

★保小連携3つの視点【学校生活適応-1 学びの連続性-2 互恵性-3】

★O2週目は1単元時間の教科を15分ごとに内容を区切るなど工夫しながら教科学習に慣れるように学習を進めていく。

